

# 市の議会 の動き

## 平成17年度 一般会計補正予算 などを可決

～平成18年第1回定例会

2月21日に招集された第1回定例会の中から、3月6日までに議決された議案などについてお知らせします。なお、3月7日以降の内容は、5月号でお知らせします。

編集●札幌市議会事務局 ☎211-3162 FAX218-5143 市議会ホームページアドレス●www.city.sapporo.jp/gikai

### 代表質問 から

今回の定例会では、二月二十七日から三月一日までの三日間の日程で代表質問を行いました。その中から主なものをお知らせします。

#### 市長の政治姿勢

鈴木 健雄（自民党）

**問** オリンピックを招致しないと表明した今、新しいまちづくりの計画で、オリンピックをしのぐような計画がほかにあるのか伺いたい。

広報さっぽろの特集の中で、収支予算の金額などは、他都市の事例などを基に算出し、一九八八年ソウルに敗れた名古屋、二〇〇八年北京に惨敗した大阪の誘致活動の教訓として、「官主導型」が第一の敗因であったと指摘しているが、札幌市としてはこの教訓をどう受け止め、どう生かそうとしたのか伺いたい。

また、オリンピックの開催・運営について、民間協力の在り方をどう考えたのか、民間資金活用によるPFI事業など市の負担を軽減する民間協力を施政に生かした「官民共同型試算」を、多角的観点に立って検討すべきであるに

もかわらず、その方策が欠落している理由について伺いたい。

**答** オリンピックは国家的な一大事業であり、札幌市が置かれていた状況を考えると、これを超えるような計画に取り組むことは難しい。

札幌市が立候補を決めるに当たって、まず市民の熱意ある支持を確認することがスタート台に立つとの考えから、市民の意見を把握することに努めてきた。

実際の開催運営に当たる場合の民間協力の在り方は、民間のノウハウや資金力などを最大限に発揮できるように取り組み姿勢で臨むべきと考えている。今回の試算に当たっ



ては、競技施設は、仮設や既存施設の改修を前提として節約した積算を行い、民間を含む90%以上の財源協力を受けた大阪の例を適用しているため、民間資金活用による市の負担軽減が盛り込まれたものと考えている。

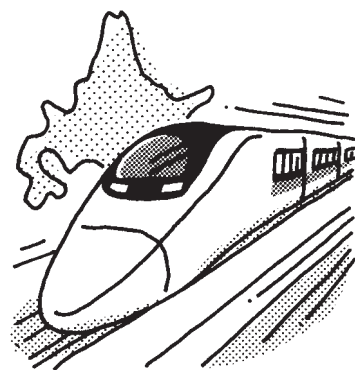
#### 将来のまちづくり

畑瀬 幸二（民主党・市民の会）

**問** 北海道新幹線の札幌延伸に際しては、建設費負担のための財源確保や並行在来線の経営分離など、多くの課題があると認識している。新幹線の札幌延伸がもたらす効果と課題について、どのように認識しているか伺いたい。新幹線の札幌延伸に伴う建設費の負担について、どのような認識を持っているか伺いたい。

また、新青森・新函館間の着工により、次は札幌延伸と声が各方面で大きくなる中、一部報道によると、札幌延伸が予想以上に早まるのではないかとの見方・観測もあるようである。このような状況は踏まえて、新年度においては、どのような取り組みを進めていくのか伺いたい。

**答** 札幌延伸により、航空機



が中心であった本州への交通手段に、雪に強く冬期においても安定した運行を可能とする新たな選択肢が加わり、さらには、函館方面や東北地方への移動時間が大幅に短縮されることなどから、北海道全体にわたる経済波及効果や観光振興、新たな交流圏の形成など、さまざまな効果が期待されている。建設費負担については、新幹線の最終駅となっている札幌市の責務として、一定の負担には応えるべきものとして認識しているが、今後、本市が受ける受益の程度や、これまでの他都市における実績など、さまざまな観点から、負担の在り方を検討し、判断していきたいと考えている。

新年度の取り組みとして、北海道や経済界などと連携を図り、中央への要望活動・アピールに積極的に取り組んで